

関東 IT ソフトウェア健康保険組合 フットサル大会競技規則・細則

■ 選手登録

- ・1 チーム 5 名以上 40 名以内の登録とする。

■ 競技人数

- ・試合における競技者は1 チーム 5 名以下 3 名以上とする。
ただし、エンジョイでは女性競技者がフィールドプレイヤーとして出ている場合、計 6 名まで試合に出場できる（女性ゴールキーパーは不可）。
- ・試合開始後、ピッチ上の競技者が 3 名未満（ゴールキーパー含む）となった場合、試合を放棄しなければならない。その場合相手チームの不戦勝（3 対 0）とする。
- ・競技者のうち、1 名はゴールキーパーとする。他の競技者や審判と容易に区別できるユニフォームが望ましい。
- ・交代は、交代ゾーンを用いて自由に交代できる。
ただし、プレー中の競技者が完全にピッチを出なければ、交代する競技者はピッチに入れない（これが遵守されなければ警告となる）。
- ・ゴールキーパーもフィールドプレイヤーと同様に交代できる。

■ 競技者の用具

- ・レガース（すね当て）は必ず着用すること。
- ・スパイクは使用できない。
- ・ジャージなど金具の付いた服装は認められない。
- ・サッカーソックスを必ず着用すること。

■ 競技時間

- ・前後半 6 分（ランニングタイム）とする。ハーフタイムは 1 分程度。

■ 4 秒ルール

- ・フリーキック、キックイン、コーナーキック及びゴールクリアランスは、4 秒以内に行わなければならない。4 秒を超えた場合、相手チームにキックインあるいは間接フリーキックが与えられる。

■ 反則

- ・不用意に、無謀に、過剰な力で次の項目の反則を犯したと審判が判断した場合、直接フリーキックが相手に与えられる。
⇒相手競技者を、①蹴る、蹴ろうとする②つまずかせる、つまずかせようとする③打つ、打とうとする④押す
相手競技者に、⑤タックルする⑥飛びかかる⑦チャージする
- ・次の項目を犯した場合も直接フリーキックが相手チームに与えられる。
⇒⑧相手競技者を抑える⑨意図的に手でボールに触れる（自分のペナルティエリア内のゴールキーパーは除く）⑩スライディングタックル（不用意に、無謀に、過剰な力で行わない限り、自分のペナルティエリア内のゴールキーパーが行うものは除く）⑪相手競技者につばを吐く
- ・ファールカウントはしない

■ ペナルティキック

- ・キックを行う競技者以外の競技者は、ボールより 5 メートル以上離れなければならない、ゴールキーパー以外の競技者は、ボールの後方に位置する。ゴールキーパーはボールが蹴られるまで、ゴールライン上に留まっていなければならない。
- ・キックを行う競技者は、ボールを前方に蹴らなければならない。また、他の競技者がボールに触れる前に再びプレーしてはならない。

■ キックイン及びキックオフ

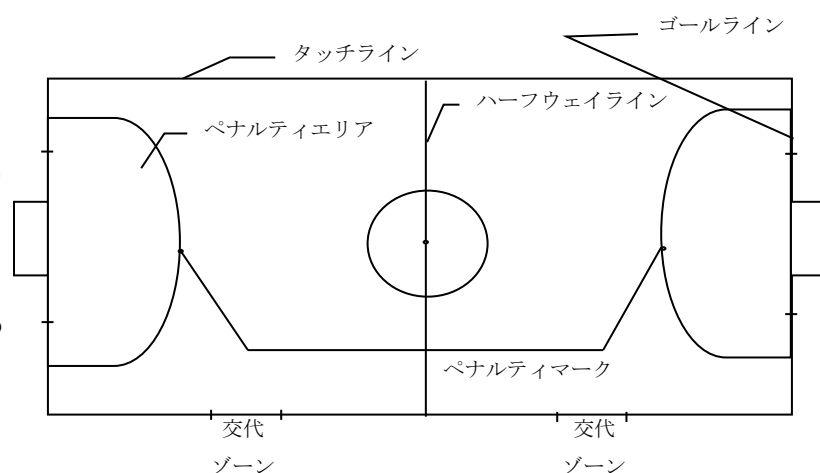
- ・タッチラインからボールがピッチ外に出た場合、キックインで再開される。
- ・ボールをタッチライン上に静止させる（軸足はコート内に入ってもよい）。
- ・守備競技者は、キックインを行う地点から 5 メートル以上離れなければならない。
- ・キックイン及びキックオフから直接得点できない。
- ・他の競技者がボールに触れる前に、キックインを行った競技者が再びボールに触れた場合、違反の起きた地点からの間接フリーキックが相手に与えられる。
- ・キックインを正しく行わない、あるいはキックインを行う競技者が 4 秒以内にキックインを行わない場合、相手チームにキックインが与えられる。

■ ゴールクリアランス

- ・攻撃側競技者がゴールラインからピッチ外に出る直前にボールに触れた場合、ゴールクリアランスで再開される。
- ・ゴールキーパーがペナルティエリア内から投げる。
- ・ゴールクリアランスから直接得点することはできない。

■ コーナーキック

- ・守備側競技者がゴールラインからピッチ外に出る直前にボールに触れた場合、コーナーキックで再開される。
- ・コーナーアーク内にボールを静止させ、蹴る。
- ・コーナーキックから直接得点することができる。
- ・守備競技者は、ボールから 5 メートル以上離れなければならない。
- ・正しく行われない場合再度やり直し（コーナーキックも 4 秒ルールが適用）、違反した場合にはゴールクリアランスで再開される。



■ ゴールキーパーのプレー

- ・自軍内において、ペナルティエリアの内外、手足を問わず、4 秒以上ボールをコントロールしてはならない。
- ・ゴールキーパーが保持していたボールを離した後、ボールが相手競技者に触れる前に再びゴールキーパーはボールに触れることができない。触れた場合は、違反のあった地点からの間接フリーキックが相手チームに与えられる。

■ 得点

- ・どちらのCATEGORYにおいても、女性競技者と今年度 45 歳以上の競技者の得点は 2 得点とする。

■ 勝者の決定方法

- ・同点の場合は引き分けとする。また勝点方式に従い順位を決定する。なお、勝ち点は、勝ち：3、分け：1、負け：0 とする。勝ち点と同じ場合は、得失点差、総得点、当該チームの対戦成績、抽選（コイントス）にて決定する。

■ 大会使用球

- ・（財）日本サッカー協会検定球（日本フットサルリーグ試合球）とし、主催者が用意する。

■ 装飾品

- ・メガネ（スポーツメガネは可）、アクセサリ類など、自他競技者を傷付けるおそれのある物の装着は禁止とする。

■ その他

- ・スライディングタックル、女性に対する故意のボディコンタクトは禁止とする。
- ・ボールが天井に当たってもプレー続行とする。
- ・試合開始前の練習時間は、2 分程度とする。ただし、この時間を短縮して試合を開始することがある。
- ・試合開始時間を 2 分経過しても 3 名以上競技者が揃わないチームは、棄権とみなし、相手チームの不戦勝（3 対 0）とする。
- ・会場使用規則については、開会式で行う説明に従うこと。試合中以外で会場の備品を破損した場合は、各チームと会場で話し合うこと。
- ・受付、試合開始など時間は厳守すること。
- ・試合前日の飲酒は控えること。